

平成 29 年度教育に関する総合調査 調査結果の読み取りに当たって

岡山市では、「中学校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」(縦のつながり)と「地域協働学校」(横のつながり)を二つの柱として、自立に向かって成長する子どもを育てていく教育を推進しています。

そこで、今回の総合調査の結果についても、幼稚園・認定こども園から中学校までの縦の意識差と、児童生徒、保護者、教職員の関連した項目間を比べた横の意識差を見ています。さらには、前年度との比較にも着目して読み取ることとしました。

<児童生徒>

小学校、中学校の児童生徒の結果を比べると、全般的に肯定的な回答^(※)の割合は中学校の方が低くなっていますが、その差は縮まってきています。学年別に見ると、前年度は 11 項目で中学校 2 年生が最も低く、3 年生で回復するという傾向がみられましたが、質問 3「学校に行くのが楽しい」や質問 4「学校の授業は分かりやすく楽しい」などで変化がみられ、今年度は 8 項目となっています。また、17 項目中 14 の項目で肯定的な回答の割合が前年度よりも高くなっています。

岡山市では、中学校区内の他校園との連携を図り、つながりを大切にした取組を行っています。毎年、肯定的な回答の割合について小学校と中学校との間に大きな差が見られる項目がありましたが、質問 4「学校の授業はわかりやすく楽しい」や質問 8「テレビを見たり、ゲームやメールをしたりするのが、長時間にならないように気をつけている」では、中学校の肯定的な割合が高くなりその差が小さくなっています。

中学校では、前年度よりも 2 ポイント以上高くなっている項目が、質問 2「外国の人に話しかけられたら、進んでそれに答える」や質問 4「学校の授業はわかりやすく楽しい」、質問 5「家で苦手な教科の勉強をしている」、質問 7「早寝早起きをするなど規則正しい生活をしている」、質問 12「先生や地域の方との関わりの中で、将来の進路や生き方について考えることがある」、質問 13「自分で計画を立てて勉強している」の 6 項目にのぼっています。小学校では、質問 14、15「地域や岡山市の『自然』や『歴史』に対する興味や関心がある」の 2 項目が 2 ポイント以上高くなっています。

<保護者>

幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の保護者の結果を比べると、肯定的な回答の割合は幼稚園・認定こども園の保護者が高く、小学校、中学校と順に低くなっていく傾向があります。質問 10「子どもが食事を好き嫌いなく摂ることができるよう子どもの食生活に気をつけている」の項目についてはこの傾向は見られません。今年度は、新設の 2 項目を除く全ての項目で肯定的な回答の割合が前年度よりも高くなっています。

学校園では、人材を活用したり体験活動を充実させたりする教育活動を行っています。質問2「人材活用の推進」の項目では11.2ポイント、質問3「体験活動の充実」の項目では8.7ポイント、肯定的な回答の割合が前年度よりも高くなっていますが、前年度同様に、幼稚園・認定こども園の保護者、小学校の保護者、中学校の保護者の間に差が見られます。

保護者の結果と児童生徒の結果について、例えば保護者の質問9「子どもが早寝早起きなど、規則正しい生活ができるようにしている」(小学校87.5%、中学校78.3%)と児童生徒の質問7「早寝早起きをするなど規則正しい生活をしている」(小学校71.7%、中学校61.8%)のように同じ内容の項目について比較すると、保護者よりも児童生徒の方が低いという傾向があります。その中でも特に差が大きい項目は、保護者の質問6「計画的に勉強しよう子どもにうながしている」(小学校84.3%、中学校81.2%)と児童生徒の質問13「自分で計画を立てて勉強している」(小学校62.2%、中学校58.3%)で20ポイント以上の意識差があります。

<教職員>

幼稚園・認定こども園、小学校、中学校の教職員の結果を比べると、肯定的な回答の割合は幼稚園・認定こども園の教職員が高く、小学校、中学校と順に低くなっていく傾向があります。この傾向は前年度と変わっていません。今年度は、新設の3項目を除き10項目中9項目で肯定的な回答の割合が前年度よりも高くなっています。

岡山市では、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子の育成を目指し道徳教育を推進しています。教職員の質問2の「道徳教育の充実を通して、子どもたちの思いやりの心が育ってきていると感じる」という項目を見ると、幼稚園・認定こども園では97.0%に対して、小学校では81.8%に、中学校では71.0%と、幼稚園・認定こども園と小学校、中学校との間に大きな差が見られます。

岡山市が推進するESDについて、学校では総合的な学習の時間を中心に、地域の自然や歴史を教材とした学習を進めています。教職員の質問3や、保護者の質問8の「郷土を愛する心が育ってきていると感じるか」という項目を見ると、肯定的な回答の割合は、教職員が78.3%で保護者が74.0%となっています。これに対して、児童生徒の質問14、15の「地域や岡山市の自然や歴史に対する興味や関心がある」の項目の肯定的な回答の割合は、自然については小学校が65.5%、中学校が45.8%、歴史については小学校が59.8%、中学校が43.0%となっており、前年度同様、教職員・保護者と児童生徒との間に差が見られます。

岡山市では、中学校区ごとの縦のつながりを生かした学校園一貫教育の推進に取り組んでいます。質問9「中学校区内の他校園の教職員との連携を図り、校種間のつながりを大切にした教育活動を行っている」では、肯定的な回答の割合は85.8%であり、前年度よりも1.8ポイント高くなっています。

※肯定的な回答……「①あてはまる」と「②どちらかというにあてはまる」を合わせた回答